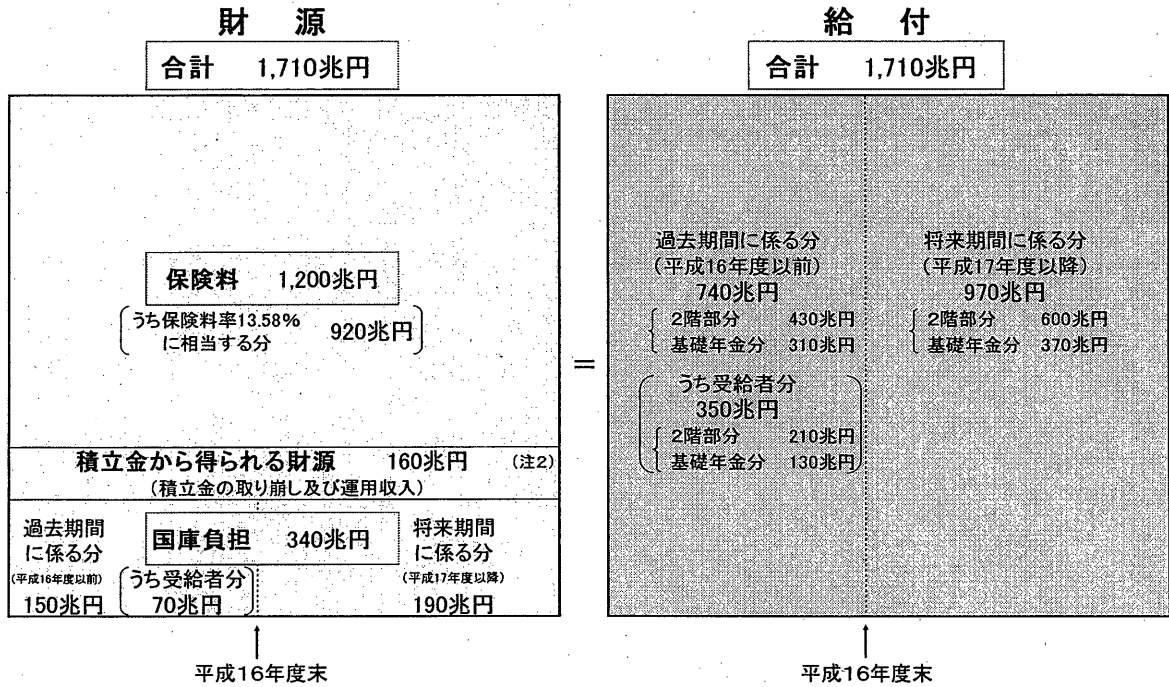


厚生年金の財源と給付の内訳 (運用利回りによる換算)

— 平成16年財政再計算 —

今後、95年間(2100年度まで)にわたる厚生年金の財源と給付の内訳を運用利回りで現在(平成16年度)の価格に換算して一時金で表示したもの



(注1) 長期的な(平成21(2009)年度～)経済前提は次の通り。

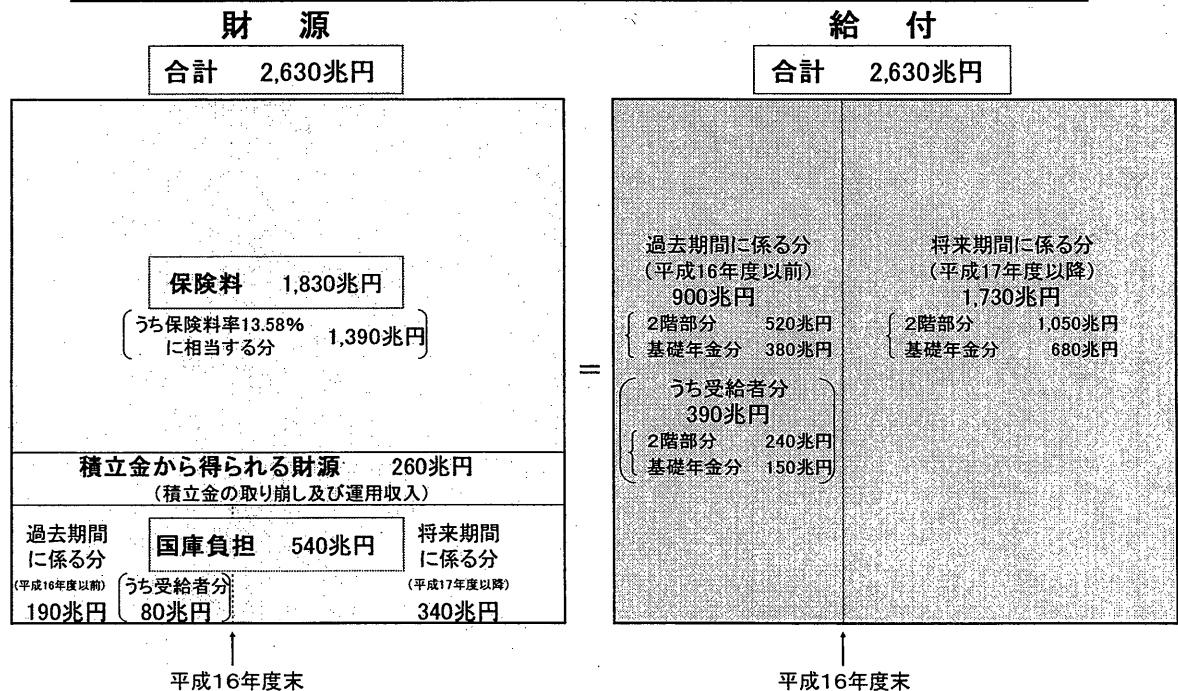
賃金上昇率	2.1%
物価上昇率	1.0%
運用利回り	3.2%
可処分所得上昇率	2.1% (ただし、平成29(2017)年度までは1.9%)

(注2) 厚生年金に係る積立金は平成16(2004)年度末現在約170兆円(厚生年金基金の代行部分に係るものを含む)であるが、図においては2100年度時点において1年分の給付費の現価に相当する10兆円を除いて表示している。

厚生年金の財源と給付の内訳 (賃金上昇率による換算)

— 平成16年財政再計算 —

今後、95年間(2100年度まで)にわたる厚生年金の財源と給付の内訳を賃金上昇率で現在(平成16年度)の価格に換算して一時金で表示したもの



(注) 長期的な(平成21(2009)年度～)経済前提は次の通り。

賃金上昇率	2.1%
物価上昇率	1.0%
運用利回り	3.2%
可処分所得上昇率	2.1% (ただし、平成29(2017)年度までは1.9%)